

5年ぶりに「花見」を開催 明神町愛好会

五町自治会

4月14日(日)コロナ禍で中断していた花見を5年ぶりに開催しました。
 全政寺境内にテーブルとベンチで特設会場を準備、全世帯数の2/3、29名の参加でした。お弁当にビール、手作りの大鍋のおでん。中には車いすで来られた方もおられ、「元気にした？調子はどう？」など、久々の再会に、話に花が咲きました。
 また、比婆牛が当たるビンゴゲームやカラオケで大いに盛り上がり、コロナ禍で忘れかけていた地域のつながりの大切さを改めて感じました。
 明神町愛好会 会長 山田晃久談



全政寺境内 明神町愛好会のみなさん



蓮照寺のしだれ桜

横町上

四月十四日(日)、コロナ発生以来四年ぶりの花見である。老若男女が久しぶりに一同に会した。とはいえ、いつのまにか十軒ぐらいいなくなってしまった。蓮照寺のしだれ桜はこの地域では一番の高齢樹で約百五十年ぐらいいなるそうである。宴たけなわになった頃、元住職の方が「年々歳々 花相似 年々歳々 人不同」と漢詩を詠めるなり。
 会は盛大にとまではいかなかったが、久しぶりで、それなりに、賑やかに過ごせた。
 横町上 新田健一談

おだやかな一日

愛善苑の下で「花見」

大佐自治会



大佐自治会のみなさん

4月7日(日)大佐自治会で花見を開催しました。
 場所は愛善苑の下です。総勢40人が集まりました。非常に日和も良く、満開の下で花見をしました。



羽ばたけ元気でかしこい 大佐村の子



愛善苑までのり面に咲き誇る桜

造幣局 花のまわりみちへ

4月10日(水)に八鳥ふれあいサロンで「春旅造幣局広島支局 花のまわりみちへ」を行いました。25名が参加しました。
 バスで造幣局広島支局に到着。満開の八重桜が迎えてくれました。咲き誇る桜は豪華絢爛で歓声があがりました。花見に来ていた園児たちに見学し、バスで広島県立美術館と縮景園に移動。縮景園では外国人観光客が多く、警備の方に「日本人の団体さんは久しぶりです」と言われました。昼食はあなご飯。原爆ドームによって西城へ帰りました。天気もよく楽しい一日でした。
 八鳥ふれあいサロン代表 滝本明人談



満開の八重桜

花見の園児たち

造幣局の大判

原爆ドーム

縮景園



八鳥自治会

八鳥ふれあいサロンのみなさん

金屋子公園の清掃作業

4月7日(日)五日市公盛会自治会で年度当初毎年実施する金屋子公園内と五日市公盛会館の清掃作業を住民全員で行いました。
 この公園内にある金屋子神社は文政11年(1828年)に造営されたと文献に記述されています。清掃作業も約186年も継続して行われています。
 今日は日和よく桜も8分咲き、タニイソギも遅い満開となり甘い香りを届けてくれています。この場所は眼下に五日市の町並みが一望できるところで、ほほをなで穏やかで心地よい風が流れてきます。
 五日市全体で104世帯あり、ほぼ全員参加され和気あいあいと会話がはずみ、今年度の清掃作業が終わりました。みなさまご苦勞様でした。
 五日市公盛会自治会事務局 樋口研二談

五日市公盛会



金屋子公園から五日市の町並みが一望できます



タニイソギが満開

金屋子神社

社殿の中も清掃



五日市公盛会のみなさん

入江ブッポウソウ同好会

入江自治会



巣箱から飛び立つブッポウソウ



巣箱の中は貝やカタツムリの殻

手作りの巣箱



巣箱の設置作業

ブッポウソウを保護するため令和2(2020)年から巣箱を設置し、現在は5か所になりました。
 ブッポウソウは人里で巣を作る特性があります。払い下げの電柱を使用し、重機で穴を掘り設置して巣箱を取付けています。巣箱にはしゅろの毛を下地にピートモスを敷き詰めています。5月に飛来し営巣します。6月に巣箱からヒナが顔を出すようになります。子育てでカラスを警戒するので畑の作物の被害が減ります。9月頃、東南アジアへ旅立っていきます。春先には巣箱の清掃作業を行い飛来の準備をおこないます。
 これからも観察会を行い見守っていきます。 代表:別曾雅文談

いけばな池坊教室

玄関やトイレに花がある生活は一味違った潤いがありますね。教室には現在10名の生徒が在籍しており、生花、自由花、立華などの稽古と同時におしゃべりは欠かすことなく楽しい時間を過ごしています。
 秋の町美展やウイル西城で鉄道コレクション展示会とのコラボ、また、西城紫水高校の卒業式や入学式にはボランティアで生花をプレゼントしています。興味のある方は是非おいでください。お待ちしております。稽古日は毎月第1・第3の金曜日です。(都合により変更の時あり)
 講師:池坊小笠原社中 小笠原フミエ



生涯学習自主運営教室



講師の小笠原フミエさん(左から三人目)と教室のみなさん